



黒島魂

～しまごころ～

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

「わかりあい(ワクワク)」

佐世保市中学校体育大会

私事で恐縮なのですが、30数年前の話をさせてください。

高校時代、私はラグビー部に所属していました。部に顧問の先生はいらっしゃいましたが、指導は特になく、原則自分たちで練習をし、試合に臨んでいました。したがって県北の高校相手にチラホラ勝つことはあっても、県央、県南のチームには、大差で敗退するという県内最弱に近い実力のチームでした。しかし、もともと小学生の時、テレビで見た自分と同じ名字を持つ選手のプレーに憧れて始めたスポーツですし、自分たちなりに考えながらの活動は楽しくもあり、毎日が充実していました。そんなラグビー部の主将になったのが、2年生の6月です。人望があったからではありません。当時としては珍しく、小学生の頃からラグビースクールに所属し、他の同級生よりほんの少しだけラグビー経験があっただけです。それをなぜか勘違いした高校時代の私は、立候補の形で主将になりました。（タイムマシンがあるのなら、今すぐにやめさせに行きます。）もともと実力も人望もない人間ですから、当然ながらボロが出ます。早いうちに同級生からの信頼はなくなり、チームとしてのまとまりはなくなっていきました。そして迎えた最後の高総体です。相手は強豪校というわけではありませんでしたが、まとまりのないチームが勝てるわけがありません。攻撃も守りも連携が取れず、失点を重ね、大敗の形で終わりました。何より悲しかったのが、負けても悔しくも何ともなかったことです。「やっと終わった」「いやなことから解放される」と思っている自分に気づいたことです。今でもノーサイドの瞬間を思い出すと、胸が苦しくなります。しかし、この苦い経験は、自分勝手に横暴で、思いやりに欠ける性格であった私を変えてくれました。それを支えてくれたのは、ラグビー部の同級生たちです。部活動引退後当然ながら、彼らとは疎遠になりました。しかし、卒業を機会に、こんな私を、許し受け入れてくれたのです。彼らは「お前も一生懸命だったんだろう？」「俺らも子供だった」という言葉をかけてくれました。私は、こんなに寛容で思いやりを溢れる人たちに迷惑をかけていたんだと素直に反省し、もう二度と、この素晴らしい仲間を裏切ってはならないと思いました。そして、私は「相手の気持ちを考えること」「相手を許すこと」を強く心がけて生きていくことを決意しました。そして、それは「教師」という仕事に就いてから、そして校長になった今でも変わらず、心に刻みつけられています。このラグビー部の仲間たちとの交流は、現在も続いています。

ご報告が遅くなりましたが、6月11日（土）、6月12日（日）の2日間、後期課程の生徒は佐世保市中学校体育大会に参加しました。（選手2名、補助員2名）結果は下にお示ししたとおりですが、選手はもちろん補助員で参加した2名も含めて、自分の持てる力を精一杯発揮してくれました。スポーツは勝負の世界ですから、勝ち負けはあります。しかし、その勝敗はさほど重要なことではないと思います。大切なことはその過程であり、**目標に向かって、主体的に考え、努力したことそのものに価値**があります。試合で感じた勝った喜び、**負けた悔しさ**（これが特に大切です。悔しさは向上心の表れです。）、その他**すべてのことが学び**です。今回の学びを今後の学校生活に生かし、「**夢の実現 15の春！**」をめざし、より一層の指導の充実を図っていく所存です。

保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、大会開催にご尽力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。チーム黒島小中学校の、チーム力がより一層高まった素晴らしい2日間でした。ありがとうございました。

試合結果

松崎 南	1回戦	2－0	2回戦	2－0
	3回戦	0－2	(ベスト16)	
三好 妥佳	1回戦	2－0	2回戦	0－2

